

2024 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	中嶋 奈津子
研究テーマ	神楽の継承と伝播の研究—なぜ、早池峰神楽は継承できたのか—
研究概要	岩手県花巻市の早池峰神楽（岳神楽・大償神楽）の近現代における継承と伝播の過程を明らかにし、かつ長期に渡り神楽の存続を可能とした伝承システムを解明する。さらに、周辺の神楽と比較することで、岳神楽や大償神楽を伝播の頂点とする従来の「早池峰神楽」像を再考し、盛岡藩領における早池峰山麓の修験系神楽の広がり を解明する。

1. 研究活動の概要と研究成果	早池峰神楽と呼称され 500 年以上続く岳神楽と大償神楽（岩手県）について、「神楽はなぜ、いかにして長期間継続できたのか」を考察するため、神楽の担い手に着目して調査を実施した。古資料により、大償神楽は江戸時代には大償集落の住民に加えて、他地域の決まった家の人 が神楽に参加していることがわかり、そのひとつである外川目地区を調査したところ、江戸時代に大償神楽に参加していた家と大償神社との関係性を明らかにすることができた。また、これらの大償集落以外の担い手は地元でも神楽を率いていたこと、そして、元は岳神楽の弟子でもあるなど、交錯する伝播状況における新たな知見を得ることができた。
2. 学術論文・学会発表等	〔論文等〕 単「大迫町外川目地区における早池峰系神楽の伝播について」『佛教大学総合研究所紀要』第 32 号、研究ノート、pp. 29～40、佛教大学総合研究所（2025 年 3 月、査読有） 共『盛岡市史現代編 通史編 下巻』『資料編』第 6 章 5 節 盛岡の文化財／6 節 盛岡のくらしと民俗「食」「くらしと民俗芸能」、盛岡市、2025 年 3 月発行 共『北上市史』第 5 章「生活と装い」第 9 章くらしと民俗芸能、北上市、2025 年 3 月発行 〔発表〕 単「南日詰大神楽の伝播について」令和 6 年度岩手民俗の会研究発表会 2024 年 7 月 21 日岩手女子高等学校 〔講演〕 ① 2024 年 11 月 17 日「盛岡藩南部家と神楽」主催：盛岡劇場 ② 2025 年 2 月 8 日「供養と芸能」主催：北上市立鬼の館
3. 競争的資金等への応募と採択	2020 年度科学研究費（基盤研究 C）「神楽の継承と伝播の研究—なぜ、早池峰神楽は継承できたのか—」（採択期間 2020 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）
4. 今後の課題後の課題	今後は、課題として残された外川目から東和町・および遠野市方面など早池峰山麓周辺の神楽の伝播状況の調査に加え、旧盛岡藩領内の他流の修験系神楽との継承と伝播について比較検討を行う。